

# 辻井タカ子後援会だより

2007年  
4月

第119号

辻井タカ子のホームページアドレス  
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会  
連絡先：堀本：604-5820  
：辻井：604-7914

「日本国憲法」の本を読んでとても感動しました。私たちはこんなすばらしい国の道しるべをもっていながら、ほとんど活用されていないのではないか。今大事なことは、憲法を変えることより「憲法を政治に、暮らしにいかすこと」だと。



## 辻井タカ子議員の報告

### 「品格ある都市づくり」とは？

新年度の財政状況は、定率減税の廃止などによる市民増税、大企業の高収益による増税で市税収入は過去最高となり、財政力は、1.66と、十分な自主財源が確保されました。

市長は、この財政力に酔い、新年度施政方針に「品格ある都市づくり」を掲げ、都市基盤整備、トルコ共和国の都市との姉妹都市提携、嚶鳴（おうめい）ファームなどで「品格」をつくるそうです。

今、市民は、貧困と格差の広がりのなか、リストラ、倒産、病気など不安や困難を抱えて生活をしていることを知っているのでしょうか。

市内の生活保護世帯、就学援助を受ける子どもたちは急増し、国民健康保険税、水道料、さらに学校給食費などを払えない家庭も増えています。

しかし、行政は、払いたくても払えない人にまで、国民健康保険証を取り上げたり、水道水を止めたりする、取り立て屋になっています。

「資格証明書」を発行された市民が、病院に行けず手遅れになり命を落とす痛ましい事例が起き、生きる権利さえも脅かされていると言っても過言でない現状です。

「福祉の心」を持ち、「資格証明書」の発行、水道の停止をやめる。高い国民健康保険税・水道料の引き下げや減免制度の拡充など、セーフティネットを張り巡らし、市民の暮らし・命を守る自治体の役割を果たしていく。そこに自治体の「品格」が生まれてくるのではないのでしょうか。

### 声 こえ コエ

「憲法変えるのいやだよ」と主婦どうしてもおしゃべりの中で話題になっていす。  
平和が大事というが、そういうことに係わっている人だけで騒いでいるような気がするけど、9条改憲の危険性を多くの人に知ってもらわなくてはと思う。  
先日の名古屋であった共産党の演説会、東海市からも多かつたし、何より志位委員長の声が聞けたし、元気の出る話はよかつた。  
残業を断わって演説会に参加した価値があつた。  
演説を聞いて、大企業にばかりに税金がつかわれるのは許せないと思った。  
議会傍聴の入り口のドアが重くて改善をお願いしていたが、先日なんと自動ドアに変わっていたのにはビックリ。

1年以上国保税を滞納している世帯に発行。窓口で全額払い、後日返納がある。

後援会のみなさんへ

愛知県議会へ  
日本共産党の議席をどうしても！



4月8日投票の愛知県議会選挙に東海市の日本共産党の立候補は見送りました。

私たちは林のぶとし（前）候補を当選させるために頑張っています。愛知県は4年間日本共産党の議席がなく、それが県民の暮らしをどれだけ脅かしてきたのか...。これ以上、高齢者・子どもを犠牲にする県政を続けさせるわけにはいきません。県は大もうけをしている大企業にこれでもかという補助金を出し続けています。まずは県民が主人公になるべきです。これにはどうしても県議会に日本共産党の議席をつくっていくことが必要になります。

後援会のみなさん、県内の親戚、知人、友人の方々へ各選挙区の日本共産党候補者に支持していただけるよう声をかけてください。お願いいたします。

裏面に県議選の候補者の一覧を載せました。



名古屋市で行われた演説会の様子

知らないうちに憲法が変わり、日本が戦争をする国になる...？

安倍首相が今国会でどうしても通そうとしているのが「改憲手続き法案」です。改憲の目的は憲法9条を変えて自衛隊が武器を持って海外へ戦争に行けるようにすることです。現憲法には国会議員だけの賛成、反対で改正できない仕組みがあります。それは「国民が主権者」だからです。しかし今の日本には憲法改正のための法律がなく、憲法96条により憲法改正に必要な法律を作らなくてはなりません。それが「改憲手続き法案」です。

しかし憲法とは国民を縛るものではなく、国家権力の行使に歯止めをかけるものです。それなのに自分達の都合のいいように憲法を変えていく仕組みを、「改憲手続き法案」の中に巧妙に多くのからくりを入れようとしています。これはどうしても廃案にしなければなりません。裏面にわかりやすくカットで表現しました。



25日に行われた富木島玄獣寺の落成式。1200人ほどお稚児さんの参加があつたそうです。